

# 懸命な防疫作業で 終息までもう少し



口蹄疫が確認されて、二カ月を超えました。その間、ワクチン接種を含めて約二十七万五千頭が殺処分される事になりました。

畜産農家は、毎日のように消毒作業に追われ、「今日も感染してなかった」と安堵する一方、肉体的にも精神的にも疲れ果てています。畜産以外の農家は、我が家の農作業を後回しにして防疫作業に参加しています。

また、口蹄疫の影響で離職した人は、安い日当で、消毒作業・殺処分・埋却に参加していますが、「防疫作業が無くなればどうなるんだろう」と日々不安を抱えながら作業に当たっています。

そして、県・自治体職員も、同様に防疫作業に参加し、体調を悪くしながらも頑張っています。

先に書いた人以外にも、多くの方が防疫作業や防疫に協力して「終息までもう少し」の所まで来ました。

ネットワークも、「口蹄疫一〇番」の開設や「食して支援を」ミヤチクと提携し、頑張っています。事務局団体で討議し、来週には口蹄疫対策本部への要請を、被害者とともに行っていきたくと思っています。

みなさんの、引き続きのご協力と支援をよろしく願います。



事務局 (宮崎県本部) に  
届いた絵手紙

口蹄疫対策県民ネットワーク (事務局)  
〒880-0911  
宮崎市大字田吉 158 番地  
宮崎県農民組合連合会内